



平成30年4月23日  
十日町市中里支所地域振興課

## 「清津峡溪谷トンネルリニューアルオープン」について

清津峡溪谷トンネルを現代美術の力でより魅力あるトンネルに改修し、リニューアルオープンします。中国の高名な建築家である馬岩松（マ・ヤンソン）氏らが代表を務める建築事務所MAD Architects（マッドアーキテクト）による設計で、大地の芸術祭作品としても先行公開となります。

- 1 日 時 4月28日（土） 午前8時30分
- 2 トンネル作品タイトル Light Cave（ライトケープ）
- 3 リニューアル内容（詳細はリーフレット参照）
  - ① 入口 柱状節理石積み
  - ② 第2見晴所 マジックミラートイレ設置（2室）
  - ③ パノラマステーション 水鏡設置、トンネルステンレス貼り
  - ④ トンネル経路 照明変更

※グランドオープンまでにトンネル内展示工事、エントランス施設工事を行います。
- 4 トンネル入坑料 大人600円、小人300円（従来どおり）

※イベント実施等特別料金となる場合があります。
- 5 その他
  - (1) 関係者見学会
    - ・日 時：4月27日（金） 午前10時～正午
    - ※報道関係の皆様も是非お越しください。
  - (2) グランドオープン
    - ・日 時：7月29日（日） 午前8時30分（予定）
- 6 添付資料 リニューアルリーフレット

### ■お問合せ先

十日町市中里支所地域振興課地域振興係  
担当：山本勝利 ☎025-763-2511（内線7-12-211）



## 日本三大峡谷 清津峡

黒部峡谷・大杉谷とともに日本三大峡谷の一つとして知られる「清津峡」は、昭和16年4月に国の名勝・天然記念物に、昭和24年9月に上信越高原国立公園に指定され、学術的資料の宝庫でもあります。

## 清津峡溪谷トンネル

清津峡の大峡谷を3ヶ所の見晴所とパノラマステーションから安全に鑑賞していただけます。

峡谷美に映えわたる柔らかな新緑、涼やかな清流、鮮やかな紅葉、水墨画のような初冬の雪景色。

それぞれの季節の清津峡をお楽しみください。



### 柱状節理【ちゅうじょうせつり】

清津峡の雄大な景観美を形成している柱状の岩は「柱状節理」といい、岩体冷却の際体積収縮によって冷却面に垂直に六角柱状の節理が生じたものです。

見晴所からはこの柱状節理を間近に見ることができます。



**全長750m、往復所要時間約40~60分**  
※トンネル内はトイレが限られています。入坑前に済ませるようにご注意ください。

- 電車  
上越新幹線→越後湯沢駅下車→バスで清津峡入口下車(約30分)→バス停から徒歩30分
- お車で  
関越自動車道→塩沢石打I.C.下車→国道353号(約20分) 〈駐車場〉無料

■入坑料 ※幼児、身障者は無料です。

区分	普通料金	団体料金 ※20名以上
大人(高校生以上)	600円	550円
小人(小中学生)	300円	250円

■開坑時間  
午前8:30~午後5:00  
(最終入坑午後4:30まで)  
冬期休業あり

※イベント開催時等は特別料金となる場合があります。

■チケット売り場  
平成30年7月28日まで：トンネル入口  
平成30年7月29日以降：エントランス施設またはトンネル入口  
※時期により異なる場合があります。現地の案内表示でご確認ください。

清津峡溪谷トンネル

〒949-8433 新潟県十日町市小出  
TEL.025-763-4800 FAX.025-763-4801  
E-mail ns-kiyotsu@nakasato-kiyotsu.com

清津峡 ホームページ

清津峡 検索

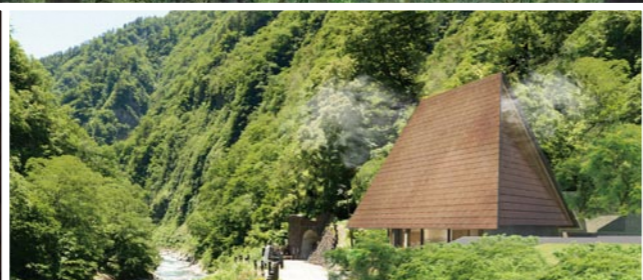
# ECHIGO-TSUMARI

2018.4.28.SAT  
清津峡溪谷トンネル リニューアルオープン

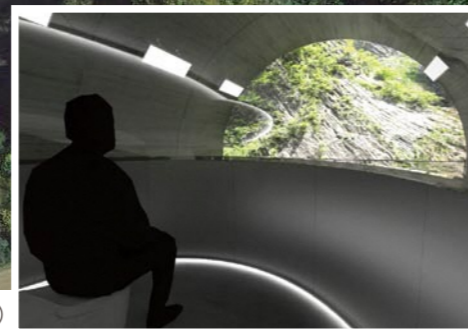
# 清津峡溪谷トンネル 2018.4.28.SAT リニューアルオープン

エントランス施設作品タイトル: Periscope/ペリスコープ  
トンネル内部作品タイトル: Light Cave/ライトケーブ

切り立った崖に囲まれる峡谷という場所に、閉鎖された空間を介して風景を見ることが出来る溪谷トンネルは、深海から海上を望む潜望鏡(Periscope)と似た体験を我々に与えてくれる。長いトンネルを歩きたどり着く3つの見晴所と、最後に峡谷を俯瞰するパノラマステーションの空間に、それぞれ異なった観点から外部の自然を感じることで出来るインスタレーションを設置することにより、溪谷トンネル全体として美しい清津峡の魅力を再発見する空間として生まれ変わる。

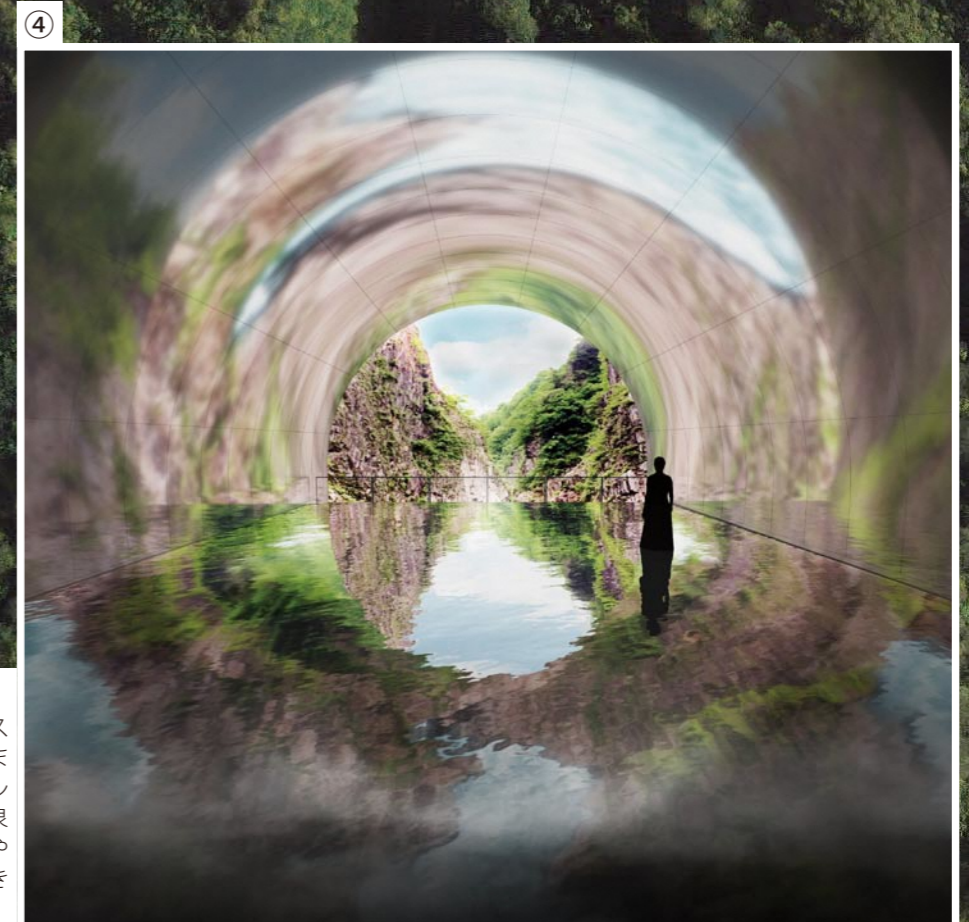


**エントランス施設(7月29日グランドオープン)**  
溪谷トンネルのイントロダクションを行う施設として、1階にカフェ、ショップ、2階にはトンネル内に湧き出た温泉水を利用した足湯が体験できる空間を持つ。2階の足湯空間は、天井が外部に開いており、特殊な反射装置がその上を覆うことによって、横を流れる清津川の風景が映しこまれる。その風景を見上げ、峡谷を流れる水の音を聞きながら、温かいお湯の恵みを足で感じる場所となる。



**第2見晴所トイレ**  
上部が有機的な形をしたトイレ全体を反射性の塗装で覆うことにより、外部の風景を歪めつつ内部に取り込み、トイレの形状が周囲の空間の中に溶け込む。トイレ内部から外部を眺めることができ、有機的なトイレ空間の中から、清津峡の険しい峡谷の風景を眺めることができる。

**トンネル入坑口**  
清津峡の代表的な岩である柱状節理をトンネル入坑口前面に配し、かつてそこにあった風景によって、洞窟という人類にとってもっとも原始的でかつ建築的な空間への導入を行う。



**パノラマステーション**  
床一面に溪谷から湧き出る沢水を張り、トンネル壁面にはステンレス板を貼ることにより、外の景色が内部空間に映しこまれ、半円であった外部の風景が完全な円として光のトンネルを映し出す。エントランス施設ではトンネル内に湧き出た温泉水を使った足湯を体験し、このパノラマステーションでは涼やかな溪谷の水に足を浸す。この地の美しい風景を作り出してきた水という自然の要素を通して、清津峡の風景を再体験する。

**建築家**  
**Ma Yansong / MAD Architects**  
MAD Architectsは2004年に中国出身の建築家、マ・ヤンソンによって設立され、ダン・チュン(中国人)と早野洋介(日本人)の3名にて運営される建築事務所。北京、ロサンゼルス、ローマに事務所を構える。東洋的自然観を基に現代社会における新しい建築の在り方の発展に取組み、人々の感情を中心に据えた未来都市「山水都市」のコンセプトを核とし、人と都市と環境との新たな関係性の創出に専心している。